

議案第12号

瀬戸内市消防団条例の一部を改正することについて

瀬戸内市消防団条例の一部を別紙のとおり改正するものとする。

令和8年2月17日提出

瀬戸内市長 黒石 健太郎

【提案理由】

消防団員が年々減少している現状を踏まえ、市民の幅広い層から消防団への入団促進を図るため、機能別団員の規定を加えるもの。

瀬戸内市条例第 号

瀬戸内市消防団条例の一部を改正する条例

瀬戸内市消防団条例(平成16年瀬戸内市条例第167号)の一部を次のように改正する。

第3条の次に次の1条を加える。

(種別)

第3条の2 団員の種別は、基本団員と機能別団員とする。

2 基本団員は、機能別団員以外の団員とする。

3 機能別団員は、消防団長(以下「団長」という。)が定める特定の任務に従事する団員とする。

第4条各号列記以外の部分中「消防団長(以下「団長」という。)」を「団長」に、「その他の団員」を「基本団員」に改め、同条第1号中「年齢18年」を「満18歳」に、「50年」を「50歳」に改め、同条に次の1項を加える。

2 機能別団員は、身体強健であって、次の各号のいずれにも該当する者から、団長が任命する。

(1) 本市に住所を有し、任命時に満18歳以上70歳未満の者であること。

(2) 過去に消防職団員として5年以上の経験を有し、消防に関する知識、経験を有する者又は発災時に職能等を活かすことができる者

第6条に次の1項を加える。

2 在職中に75歳に達した機能別団員は、その年度の3月31日をもって退団とする。

第13条第1項中「団員の」を「基本団員の」に改め、同項の表中「第5条」を「第5条第1項」に改め、同条中第4項を第5項とし、第3項の次に次の1項を加える。

4 機能別団員の報酬は、次に掲げるとおりとする。

(1) 年額報酬は、支給しない。

(2) 災害に係る出勤報酬は、基本団員と同額とする。

附 則

この条例は、令和8年4月1日から施行する。

瀬戸内市消防団条例(平成16年瀬戸内市条例第167号)新旧対照表

| 現行 | 改正後 |
|--|---|
| <p>(任命)</p> <p>第4条 <u>消防団長</u>(以下「<u>団長</u>」という。)は、消防団の推薦に基づき、市長が任命し、<u>その他の団員</u>は団長が次の資格を有する者のうちから、市長の承認を得て任命する。</p> <p>(1) 本市に居住し、又は勤務する<u>年齢18年以上50年未満</u>の者であること。ただし、団長、副団長等で特に必要があるときは、この限りでない。</p> <p>(2) 略</p> <p>(退職)</p> | <p>(種別)</p> <p>第3条の2 <u>団員の種別は、基本団員と機能別団員とする。</u></p> <p>2 <u>基本団員は、機能別団員以外の団員とする。</u></p> <p>3 <u>機能別団員は、消防団長(以下「<u>団長</u>」という。)が定める特定の任務に従事する団員とする。</u></p> <p>(任命)</p> <p>第4条 <u>団長</u>は、消防団の推薦に基づき、市長が任命し、<u>基本団員</u>は団長が次の資格を有する者のうちから、市長の承認を得て任命する。</p> <p>(1) 本市に居住し、又は勤務する<u>満18歳以上50歳未満</u>の者であること。ただし、団長、副団長等で特に必要があるときは、この限りでない。</p> <p>(2) 略</p> <p>2 <u>機能別団員は、身体強健であって、次の各号のいずれにも該当する者から、団長が任命する。</u></p> <p>(1) <u>瀬戸内市に住所を有し、任命時に満18歳以上70歳未満の者であること。</u></p> <p>(2) <u>過去に消防職団員として5年以上の経験を有し、消防に関する知識、経験を有する者又は発災時に職能等を活かすことができる者</u></p> <p>(退職)</p> |

第6条 略

(報酬)

第13条 団員の報酬は、次に掲げるとおりとする。

| 区分 | 瀬戸内市消防団 規則(平成16年瀬 戸内市規則第54 号)第5条 に 規定する階級 | 支給額 |
|-----------|---|---------------|
| 年額報酬 | 団長 | 119,000円 |
| | 副団長 | 99,000円 |
| | 分団長 | 72,000円 |
| | 副分団長 | 50,000円 |
| | 部長 | 37,000円 |
| | 班長 | 37,000円 |
| | 団員 | 36,500円 |
| 災害に係る出動報酬 | 全ての階級 | 1日(7時間45分)につき |
| | | 4時間未満 4,000円 |
| | | 4時間以上 8,000円 |

2・3 略

4 略

第6条 略

2 在職中に75歳に達した機能別団員は、その年度の3月31日をもって退団とする。

(報酬)

第13条 基本団員の報酬は、次に掲げるとおりとする。

| 区分 | 瀬戸内市消防団 規則(平成16年瀬 戸内市規則第54 号)第5条第1項に 規定する階級 | 支給額 |
|-----------|---|---------------|
| 年額報酬 | 団長 | 119,000円 |
| | 副団長 | 99,000円 |
| | 分団長 | 72,000円 |
| | 副分団長 | 50,000円 |
| | 部長 | 37,000円 |
| | 班長 | 37,000円 |
| | 団員 | 36,500円 |
| 災害に係る出動報酬 | 全ての階級 | 1日(7時間45分)につき |
| | | 4時間未満 4,000円 |
| | | 4時間以上 8,000円 |

2・3 略

4 機能別団員の報酬は、次に掲げるとおりとする。

(1) 年額報酬は、支給しない。

(2) 災害に係る出動報酬は、基本団員と同額とする。

5 略

瀬戸内市規則第 号

瀬戸内市消防団規則の一部を改正する規則

瀬戸内市消防団規則(平成16年瀬戸内市規則第54号)の一部を次のように改正する。

第5条に次の1項を加える。

2 機能別団員の役職及び階級は、団員とする。

第22条第1項中「団員」を「基本団員」に改め、「えり章及び」を削り、同条第3項中「第1項」を「第1項及び第2項」に改め、同項を同条第4項とし、同条第2項中「前項」を「前2項」に改め、同項を同条第3項とし、同条第1項の次に次の1項を加える。

2 機能別団員には、ベスト、アポロキャップ等を貸与する。

附 則

この規則は、令和8年4月1日から施行する。

瀬戸内市消防団規則(平成16年瀬戸内市規則第54号)新旧対照表

| 現行 | 改正後 |
|---|---|
| <p>(役職) 第5条 略</p> <p>(貸与品) 第22条 団員___には、<u>えり章及び被服等</u>を貸与する。</p> <p><u>2</u> 前項の貸与品は、災害出場等職務遂行上着用する場合のほか、みだりにこれを着用してはならない。</p> <p><u>3</u> 団員が退職し、又は死亡したときは、<u>第1項</u>の貸与品を返納しなければならない。ただし、市長が返納の必要がないと認めたものについては、この限りでない。</p> | <p>(役職) 第5条 略</p> <p><u>2</u> <u>機能別団員の役職及び階級は、団員とする。</u></p> <p>(貸与品) 第22条 <u>基本団員</u>には、被服等を貸与する。</p> <p><u>2</u> <u>機能別団員</u>には、ベスト、アポロキャップ等を貸与する。</p> <p><u>3</u> 前2項の貸与品は、災害出場等職務遂行上着用する場合のほか、みだりにこれを着用してはならない。</p> <p><u>4</u> 団員が退職し、又は死亡したときは、<u>第1項及び第2項</u>の貸与品を返納しなければならない。ただし、市長が返納の必要がないと認めたものについては、この限りでない。</p> |